

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2021年3月31日

事業ID: 2019522481

事業名: 海と日本プロジェクトinえひめ(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトinえひめ実行委員会

代表者名: 実行委員長 佐伯 美香

TEL: 089-915-2380

事業完了日: 2021年3月31日



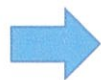
事業費総額	: 24,970,000円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	: 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	: 24,970,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	: 円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容

■ 事業内容1

(1) 助成契約書記載の事業内容(予定)

1. オリジナルイベントの実施
 (1) 時期: 2020年8月18日(火)19日(水)
 (2) 場所: 愛媛県今治市大島、大三島
 (3) 参加者: 事前応募の県内小学校5、6年生 20名
 (4) 内容: 村上海賊の海との共生の知恵を学び、体験。
 潮流体験や、海割れ体験を通じて、地域の海の潮流・潮汐を学んだ。



(2) 事業完了時の事業内容(実績)

1. オリジナルイベントの実施
 (1) 時期: 2020年8月18日(火)19日(水)
 (2) 場所: 愛媛県今治市大島、大三島
 (3) 参加者: 事前応募の県内小学校5、6年生 18名
 (4) 内容: 村上海賊の海との共生の知恵を学び、体験。
 潮流体験や、海割れ体験を通じて、地域の海の潮流・潮汐を学んだ。

(3) 成功したこととその要因

日本屈指の潮流体験や、年に数回の潮の満ち引きなど、県内の子どもたちでも体験したことのない、海の自然を学ぶことができた。地元の高中生との交流もあり、海と共生する島の生活にも触れることができた。

(4) 失敗したこととその要因

コロナ禍により直前での参加キャンセルがあった。キャンセルも見据えて歩留まりを見込んだ募集を掛けるべきであった。また、オンライン等での施策が実施できなかったことは課題となった。

(5) 事業内容詳細

別添の事業報告書参照

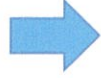
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.コラボイベントの実施
(1)時期:2021年2月27日(土)
(2)場所:愛媛県伊方町
(3)参加者:三崎小学校児童 13名
(4)内容:海ノ民話プロジェクト アニメ上映会ワークショップ

(2)事業内容の実施(完了)状況

2.コラボイベントの実施
(1)時期:2021年2月27日(土)
(2)場所:愛媛県伊方町
(3)参加者:三崎小学校児童 13名
(4)内容:海ノ民話プロジェクト アニメ上映会ワークショップ



(3)成功したこととその要因

伊方町役場や商工会、観光団体を巻き込み、アニメ上映後の商品開発や、二次的拡散も積極的に実施できた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添、報告書参照

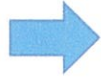
■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3.海応援動画の制作
(1)時期:2020年5月~2021年3月
(2)場所:愛媛県内各地
(3)参加者:県内で海に関わって活等している方や団体など
(4)内容:海に関する活動取材し、2~3分の応援動画を制作、また、「海の日広報周知」などプロジェクト訴求映像を収録し、15秒テレビCMとして南海放送テレビで放送。

(2)事業内容の実施(完了)状況

3.海応援動画の制作
(1)時期:2020年5月~2021年3月
(2)場所:愛媛県内各地
(3)参加者:県内で海に関わって活等している方や団体など
(4)内容:海に関する活動取材し、2~3分の応援動画を制作、また、「海の日広報周知」などプロジェクト訴求映像を収録し、15秒テレビCMとして南海放送テレビで放送。



(3)成功したこととその要因

内容次第で2~3分以上の尺で動画を制作し、放送することもできた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添、報告書参照

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4.ニュースサイトの運営
 (1)時期:2020年5月~2021年3月
 (2)場所:愛媛県内各地
 (3)参加者:海に関わる活動をしている方や団体
 (4)内容:県内の海に関わる情報をニュース記事化し、公式サイトで50以上発信。



(2)事業内容の実施(完了)状況

4.ニュースサイトの運営
 (1)時期:2020年5月~2021年3月
 (2)場所:愛媛県内各地
 (3)参加者:海に関わる活動をしている方や団体
 (4)内容:県内の海に関わる情報をニュース記事化し、公式サイトで50以上発信。

(3)成功したこととその要因

50以上の記事発信ができた。公式サイト以外にSNSを駆使してさらに拡散できた。

(4)失敗したこととその要因

オンラインでの映像配信など、チャレンジする余地があった。

(5)事業内容詳細

別添、報告書参照

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

1.20以上の企業・団体に海と日本プロジェクトの「推進パートナー」に新たに登録してもらう。
 2.エリア内の団体・企業とコラボレーションした企画を実施する。
 3.「海を体験する機会」「海ごみ対策」等をテーマに、15秒動画を各3本制作する。
 4.県内の海に関するイベントやアクティビティー等の2分程度の紹介動画を30本、もしくは20本以上総尺4,500秒以上制作する。
 5.公式ウェブサイトにて、県内の海に関するニュースを50本以上発信する。
 6.県の海が持つ特徴を子供たちが主体的に学ぶことができるオリジナルイベントを実施する。
 7.海と日本プロジェクトにて全国展開する事業等とのコラボイベントを10回実施する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	75	文字数チェック	OK
年間で20以上の新規団体登録や、30本以上の動画制作、3本の訴求映像など目標通り達成することができた。公式サイトについては50以上の記事発信もできた。			

3.事業実施によって得られた成果

県内の自治体や団体と深く連携することができ、今まで以上にプロジェクト周知が進んだと感じている。連携事業の「海ノ民話のまちプロジェクト」では今年度も県内自治体が採択され、関連事業が実施できた。地元自治体などの協力もあり、今まで以上に深度のある連携が図れた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

コロナ禍の状況下、リアルイベントなどに制約が発生したケースもあった。オンラインでの展開など新たな施策が必要であると感じている。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

- ・海応援動画30本
- ・プロジェクト訴求映像3本
- ・公式サイトにおける掲載記事50
- ・オリジナルイベントチラシ3,000部
- ・海と日本プロジェクト2020事業報告書



(2)事業完了時の成果物名称

- ・海応援動画30本
- ・プロジェクト訴求映像3本
- ・公式サイトにおける掲載記事54
- ・オリジナルイベントチラシ3,000部
- ・オリジナルイベント修了証書
- ・海ノ民話プロジェクト二次的展開ポスター
- ・海と日本プロジェクト2020事業報告書

(3)未作成となった要因

無し

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/25294>